

設計例(県道鳴門池田線新曾江谷橋)

主要地方道路鳴門池田線は、美馬市脇町において市街地を通過している。その区間は幅員が約7.0mで歩道はなく、商店等家屋が連たんしており、交通安全上好ましくない状況のため、南側にバイパスルートが整備中である。

本事業は、バイパス整備事業の一環として曾江谷川を渡河する曾江谷橋を現在位置より約200m下流に全面架け替えを行うものである。

平成21年度より工事は着工しており、平成23年度にはニューマチックケーソン基礎の橋脚が着工された。



完成イメージパース図

< 橋梁諸元 >

- 設計荷重 B活荷重
- 橋 長 225.000m
- 支間割 49.3+62.5+62.5+49.3m
- 幅 員 14.7m(車道7.5m+歩道3.0m×2)
- 形 式 上部工 4径間連続非合成鋼箱桁橋
下部工 場所打ち杭基礎逆T式橋台
ニューマチックケーソン基礎張り出し式橋脚